

小学校 知的障がい特別支援学級

1 実態把握 / 2 目標

ガイドブック P.1

		A (2年)	B (4年)	C (6年)
障がいの状態		自閉症 身の回りのことを教師と一緒にする。写真カードを指差して校内の行きたい場所を伝える。重なりのない線のなぞり書きをする。	知的障がい いつ、誰と、何をしたかを整理して話そうとする。100までの数を正確に数える。うまくいかないと情緒が乱れることが多い。	ダウン症 学校内で必要な身辺処理を一人で行う。二語文で気持ちや要求を伝える。簡単な手紙を書いて教師に渡すことを好む。
支援計画	個別の教育	身の回りのことを教師と一緒にいき、一人であることを増やす。	・自分の予定を把握し、自分で準備などをしようとする。 ・友達と仲良く関わりながら遊ぶ。	・自分の考えや気持ちを整理し、言葉や文章で相手に伝える。 ・健康に気を付けた生活を送る。
自立活動	長期目標	自分の思いを相手に伝えることが増える。	自分の気持ちを言葉で伝え、落ち着くための行動を身に付ける。	安全に気を付けて食事をする。
	短期目標	遊びの中で、したいことを選択して教師に伝える。	いらいらしそうなことに自分で気づき、教師に伝える。	適量に気を付けて食べ物を口に入れたり、30回かむことを意識したりする。
個別の指導計画	短期目標	尿意を感じて教師に伝えたり、一人で衣服の着脱をしたりする。	・カレンダーに自分の予定を書き、確認する習慣を付ける。 ・友達への気持ちの伝え方を知る。	・教師と一緒に伝えたいことを整理し、表現の仕方を知る。 ・手洗い、うがいやよくかんで食べる習慣を付ける。
	国語	1段階	2段階	2段階
	社会			
	算数	1段階	2段階	2段階
	理科			
	生活	1段階	3段階	2段階
	音楽	1段階	3段階	3段階
	図画工作	1段階	3段階	3段階
	家庭科			
	体育	1段階	3段階	2段階
	道徳	自分で考え、自分で行動することを増やす。 (幼稚園)	自分のよいところに気づき、自信を持つ。 (小3・4年)	気持ちのよい挨拶、場に合った言葉遣いに気を付けて行動する。 (小1・2年)
	外国語		3段階	2段階
	特別活動	教師を介して友達と一緒にいろいろな活動に参加する。	友達と話合いながら、計画を立てたり解決策を考えたりする。	集団の一員であることを意識し、積極的に活動に参加する。

3 学級集団の実態の整理

興味・関心や強み	課題
<ul style="list-style-type: none"> ・教師や友達と関わることを好み、一緒に遊んだり声を掛け合ったりしている。 ・学級での係活動に進んで取り組み、自分で仕事を見つけて行うこともある。 ・アイロンビーズやブロックなどで遊ぶことを好む。 ・転がしたり飛ばしたりするおもちゃを作って遊ぶことを好む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習に対して苦手意識があり、慣れないことや難しいことを避けようとする。 ・経験の幅が狭く、初めて行うことに抵抗を感じる。 ・学級の児童以外の友達と関わりを持つことが少ない。 ・試行錯誤しながら物事に取り組む経験が少ない。

4 合わせた教科と時数の確認



- ・この事例は、「各教科等を合わせた指導」を年間315時間実施します。
- ・そのうち、生活単元学習は年間140時間（週4時間）で、日常生活の指導は年間175時間（週5時間）です。
- ・「各教科等を合わせた指導」で取り扱う教科等は、生活科、国語科、算数科、図画工作科、特別活動、自立活動の指導です。
- ・国語科、算数科、図画工作科は、日常生活の指導ではなく、全て生活単元学習で学習することとしたので、割合は10にしました。
- ・自立活動の指導は、生活単元学習（週4時間）と日常生活の指導（週5時間）の時数の差を基に、割合を4にしました。
- ・生活単元学習の年間の総時数は3名とも同じですが、学年が違いますので、それぞれの教科の時数に違いがあります。3名のうち、4年、6年の2名が同じパターンなので、4年、6年の教科等の時数を目安として、本学級の生活単元学習の計画を立てることとしました。

学年	教科	生活	国語	算数	音楽	図画 工作	体育	道徳	外国語 活動	総合	特別 活動	自立 活動	時数の 合計
2年	授業時数	170	10	10		20					35	70	315
	割合	3	10	10		10					6	4	
	生単の時数	51	10	10		20					21	28	140
4年	授業時数	190	5	5		10					35	70	315
	割合	4	10	10		10					6	4	
	生単の時数	71	5	5		10					21	28	140
6年	授業時数	190	5	5		10					35	70	315
	割合	4	10	10		10					6	4	
	生単の時数	71	5	5		10					21	28	140
時数の目安		5	5	5		10					21	28	140

4年、6年の生活を4割にすると76時間になりました。年間の時数の合計が140時間を超えないよう、生活から5時間を引き、71時間（76-5=71）にしました。

5 年間指導計画

①-1 教材の案

ガイドブック P.7

	1 学期				2 学期				3 学期		
	4 月	5 月	6 月	7 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
学校行事	入学式 迎える会 遠足 交通安全教室	運動会		学年集会	避難訓練 造形大会	修学旅行⑥ 合同運動会	人権集会 音楽会		マラソン大会 スキー教室⑥ 避難訓練	文化芸術学習	遠足 送る会 卒業式
季節・季節行事	春 桜・花 お花見 たけのこ	春 子どもの日 母の日 芋苗植え	夏 梅雨 父の日 田植え	夏 七夕 プール 暑中見舞い	秋 どんぐり お月見 敬老の日	秋 祭り ハロウィン みかん	秋 勤労感謝の日 落ち葉 芋掘り	冬 クリスマス 年賀状 花苗	冬 お正月	冬 節分 バレンタイン	春 ひな祭り
生活上の課題	進級 学校探検 アルバム 買い物		プール清掃	福祉体験④ 夏休み 学年間交流 誕生日	買い物 人権教室④	町探検② 福祉体験④ 誕生日		学校間交流 冬休み	書初め 冬の遊び 〇〇園交流	福祉体験④ 校外学習 参観日 (家族への感謝) 学年間交流 誕生日	進学/進級 春休み 買い物
偶発的										雪	
地域資源	児童館 〇〇駅 消防署 スーパー〇〇 食品工場 〇〇公民館 〇〇保存会										

③取り扱う教材の精選と単元化

ガイドブック P.8



転がしたり飛ばしたりするおもちゃを作って遊ぶことが好きな子どもたちなので、おもちゃ作りを通して学べる単元を計画しました。

	1 学期				2 学期				3 学期		
	4 月	5 月	6 月	7 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
学校行事					造形大会 秋 どんぐり ↓ どんぐりランドで遊ぼう						
季節・季節行事		芋苗植え					落ち葉 芋掘り	花苗			送る会 卒業式
生活上の課題				学年間交流 ↓ ゴムロケットで遊ぼう						学年間交流 ↓ ストロアーチェリー大会をしよう	
偶発的		誕生日			買い物 ↓ 誕生日会をしよう	誕生日		誕生日			進学/進級 ↓ お楽しみ会をしよう

④主とする教科や主たる学習活動の検討／⑤各単元の時数及び主とする教科に係る時数の概算



- ・単元「ゴムロケットで遊ぼう」では、算数科の目標を達成するために、飛距離を比べる活動が設定できると考えたので、算数科を「主とする教科」とし、時数を設定しました。また、図画工作科の目標を達成するために、ゴムロケットを飾り付ける活動が設定できると考えたので、図画工作科も「主とする教科」にしました。
- ・単元「たん生会をしよう」では、同じ活動を繰り返すことが、見通しを持って主体的に学習に取り組むことにつながるため、同じ流れで誕生会を3回行うこととしました。

	1 学期				2 学期				3 学期		
	4 月	5 月	6 月	7 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
単 元	ゴムロケットで遊ぼう 15 時間 (生活) 8 (算数) 1 (図工) 2 学習活動 ・ゴムロケット作り ・ゴムロケットの改良 ・飛距離比べ ・ゴムロケット大会				どんぐりランドで遊ぼう 26 時間 (生活) 13 (算数) 1 (図工) 4 (特活) 3 学習活動 ・どんぐり拾い ・どんぐりで遊ぶ ・作品制作 ・作品展へ出品する				ストローアーチェリー大会をしよう 22 時間 (生活) 11 (算数) 1 (図工) 1 学習活動 ・ストローアーチェリー作り ・ストローアーチェリーの改良 ・飛距離比べ ・ストローアーチェリー大会		
	さつまいもパーティーをしよう 28 時間 (生活) 13 (算数) 1 (特活) 5 学習活動 ・苗植え ・栽培 ・観察 ・収穫 ・重さ調べ ・調理 ・パーティー				花いっぱい大作戦 12 時間 (生活) 4 (国語) 2 (図工) 1 (特活) 3 学習活動 ・苗植え ・栽培 ・観察 ・カード作り ・鉢カバー作り ・卒業式で飾る						
	たん生会をしよう 20 時間 (生活) 10 (国語) 1 (図工) 1 (特活) 3 学習活動 ・誕生会の計画 ・買い物 ・準備 ・誕生会 (5 月・10 月・12 月)				お楽しみ会をしよう 17 時間 (生活) 8 (国語) 1 (特活) 5 学習活動 ・お楽しみ会の計画 ・色紙作り ・買い物 ・準備 ・お楽しみ会						
	偶発的										

・学習活動につながりや発展性がある単元を、矢印⇨で結んでいます。



- ・「4 合わせた教科と時数の確認」で求めた、「時数の目安」を意識して、時数を考えました。
- ・自立活動の指導は、全ての単元でまんべんなく指導すると考え、それぞれの単元の時数を基に、時数を設定しました。生活単元学習 140 時間の内、28 時間が自立活動なので、生活単元学習 1 時間当たり 0.2 時間が自立活動です。例えば、単元「ゴムロケットで遊ぼう」の時数は、15 時間なので、その内の 3 時間が自立活動になります。なお、自立活動は「主とする教科」にはしていません。

単元名	教科 時数	生活	国語	算数	音楽	図画 工作	体育	外国語 活動	総合	道徳	特別 活動	自立 活動	時数の 合計
ゴムロケットで遊ぼう	15	8		1		2						3	14
たん生会をしよう	20	10	1			1					3	4	19
さつまいもパーティーをしよう	28	13		1							5	6	25
どんぐりランドで遊ぼう	26	13		1		4					3	5	26
花いっぱい大作戦	12	4	2			1					3	2	12
ストローアーチェリー大会をしよう	22	11		1		1						5	18
お楽しみ会をしよう	17	8	1								5	3	17
合計	140	67	4	4		9					19	28	131
時数の目安	140	71	5	5		10					21	28	140

6 単元設定

単元「ゴムロケットで遊ぼう」 全 15 時間

①児童の実態

本学級は 2 年、4 年、6 年の 3 名の児童が在籍している。教師や友達と関わることを好み、学級内で互いに関わり合って遊ぶことはあるが、学級外の友達と関わるのが少ない。休憩時間には教師に紙飛行機を折ってもらって飛ばして遊ぶことを好んでいる。遠くに飛ばしたいという思いを持っており、教師と一緒に折り方を工夫したり、よく飛ぶ紙飛行機の折り方をインターネットで調べたりしている児童もいる。

②単元観

ゴムロケットは、転がしたり飛ばしたりするおもちゃを作って遊ぶことを好む、本学級の児童にとって興味を持ちやすいものである。ゴムロケットは作ったり飛ばしたりすることが簡単であり、アレンジもしやすい。また、ゴムの大きさを変えると物が動く様子も変わることにより気づきやすい。飛距離を競うゴムロケット大会を開催することで、友達に紹介して一緒に遊びたい、できるだけ遠くに飛ばしたいという子どもの思いを引き出すことができると考える。

③単元目標

〔学級全体の単元目標〕

- ゴムロケットを作ったり、ゴムロケット大会を開いたりする。 (知識及び技能)
- よく飛ぶよう試行錯誤しながら作ったり、遊び方を工夫したりする。
(思考力、判断力、表現力等)
- 友達と教え合ったり協力したりするとともに、友達と一緒に活動する楽しさを味わい、進んで学習に取り組む。
(学びに向かう力、人間性等)

〔子ども一人一人の単元目標〕



- ・ Aさんは、教師と一緒にいろいろな活動に参加し、目標を達成することをねらいたい児童です。ゴムロケットを飛ばすことを楽しみ、自分からどんどん飛ばしてほしいと考えました。また、夢中になって遊ぶことが、友達の様子に注目するきっかけになるといいと考えました。
- ・ Bさんは、「友達と話し合いながら、計画を立てたり解決策を考えたりする」ことが目標の一つです。この単元では、友達と話し合いながらゴムロケット大会の計画や準備をしてほしいと考えました。自信がなく、気持ちをコントロールすることが難しい児童なので、学習を通して、自分の良いところに気づき、自信を持つことにつながるようにしたいと思っています。
- ・ Cさんは6年生として「集団の一員であることを意識し、積極的に活動に参加する」ことが目標の一つです。そこで、この単元では、友達に楽しんでもらうことを意識して活動してほしいと考えました。

A	<ul style="list-style-type: none"> ○教師と一緒にゴムロケットを作ったり、ゴムロケット大会の準備や係をしたりする。 (知識及び技能) ○ゴムロケットを自分から飛ばそうとする。 (思考力、判断力、表現力等) ○友達が飛ばす様子に注目したり、友達を意識しながら係をしたりする。 (学びに向かう力、人間性等)
B	<ul style="list-style-type: none"> ○よく飛ぶゴムロケットを作ったり、ゴムロケット大会の計画や準備をしたりする。 (知識及び技能) ○よく飛ぶよう、材料を変えたり飛ばし方を工夫したりする。 (思考力、判断力、表現力等) ○友達の良いところに注目したり、友達と一緒に活動しようとしたりする。 (学びに向かう力、人間性等)
C	<ul style="list-style-type: none"> ○よく飛ぶゴムロケットを作ったり、ゴムロケット大会の計画や準備をしたりする。 (知識及び技能) ○教師の助言を受けながら、よく飛ぶように工夫する。 (思考力、判断力、表現力等) ○友達に楽しんでもらうことを意識しながら、ゴムロケット大会を計画しようとする。 (学びに向かう力、人間性等)

7 単元計画



- ・夢中になって遊ぶことから始め、「もっと遠くに飛ばしたい」「学級以外の友達と勝負したい」という気持ちが自然に持てるような流れを考えました。
- ・学習活動2「ゴムロケットを改良しよう」では、(1)から(3)の活動を繰り返すことで、児童が見通しを持って学習に取り組んだり、試行錯誤したりすることができるようにしたいと考えました。

学習活動	重視する学びの姿			主とする教科の内容 及び評価の観点	時 数	
	主	対	深			
1 ゴムロケットを作ろう (1) 作り方を知る。 (2) 作る。 (3) 飛ばして遊ぶ。	◎			生活－ものの仕組みと働き(思考・判断・表現) 図工－表現(思考・判断・表現) 算数－測定(知識・技能)	2	楽しそうだな 作ってみたいな 興味・関心や期待感を持つ ゴムロケットが飛んだよ 楽しい! 興味・関心や期待感を持つ もっと遠くに飛ばすには どうしたらいいかな 課題を見付ける
2 ゴムロケットを改良しよう (1) 飛距離を調べる。 (2) 改良する。 (3) 工夫点を発表し合う。 ＊(1)～(3)を繰り返す。	○	○	○	算数－測定(知識・技能) 図工－表現(思考・判断・表現) 生活－ものの仕組みと働き(思考・判断・表現)	5	調べてみよう 試してみよう 課題解決に向けて活動する ○○さんはすごいな 互いの活動を見合う 飛距離を比べるにはどうしたらいいかな 課題解決に向けて活動する
3 ゴムロケットで遊ぼう (1) 計画を立てる。 (2) 準備をする。 (3) 遊ぶ。	◎	○		生活－遊び(知識・技能) 算数－測定(知識・技能)	5	みんなで遊ぶと楽しい 友達と協働する 学級以外の友達と勝負したいな 次の活動を期待する
4 ゴムロケット大会を開こう (1) 計画を立てる。 (2) 準備をする。 (3) 大会を開く。 (4) 振り返る。	○		○	生活－役割(思考・判断・表現)	3	ゴムロケット大会を開いて 友達を呼ぼう 般化・応用する 楽しい大会ができた 他の友達も呼びたい 自分の成長を実感する

8 授業の目標及び評価規準

学習活動2：ゴムロケットを改良しよう (1)~(3)



学習活動2は、(1)~(3)を3回繰り返して行うこととしています。この授業はその1回目です。

〔学級全体の授業の目標〕

ゴムロケットがよく飛ぶように工夫する。

- よく飛ぶように改良したり、飛ばし方を身に付けたりする。 (知識・技能)
- 試行錯誤しながら改良したり、飛ばす練習をしたりする。 (思考・判断・表現)
- 教師に質問したり、友達の良いところに注目したりしながら、飛距離を延ばそうと工夫している。 (主体的に学習に取り組む態度)

〔子ども一人一人の授業の目標〕

A	<p>ゴムロケットの飛ばし方が分かり、一人で飛ばす。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ゴムロケットの飛ばし方が分かり、一人で飛ばしている。 (知識・技能) ○友達や教師のやり方をまねながら飛ばしている。 (思考・判断・表現) ○ゴムロケットを自分から繰り返し飛ばそうとしている。 (主体的に学習に取り組む態度)
B	<p>試行錯誤しながら改良し、ゴムロケットの飛距離を延ばす。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ゴムロケットの飛距離が延びた理由が分かり、改良している。 (知識・技能) ○試行錯誤しながら改良したり、友達や教師に伝えようとしていたりしている。 (思考・判断・表現) ○改良したゴムロケットについて、自信を持って発表しようとしている。 (主体的に学習に取り組む態度)
C	<p>教師と一緒に改良し、ゴムロケットの飛距離を延ばす。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○教師の助言を基にゴムロケットの飛距離が延びた理由に気づき、改良している。 (知識・技能) ○教師の助言を基に試行錯誤しながらゴムロケットを改良したり、友達や教師に伝えようとしていたりしている。 (思考・判断・表現) ○改良したゴムロケットについて、自信を持って発表したり、友達の良いところを見付けようとしていたりしている。 (主体的に学習に取り組む態度)



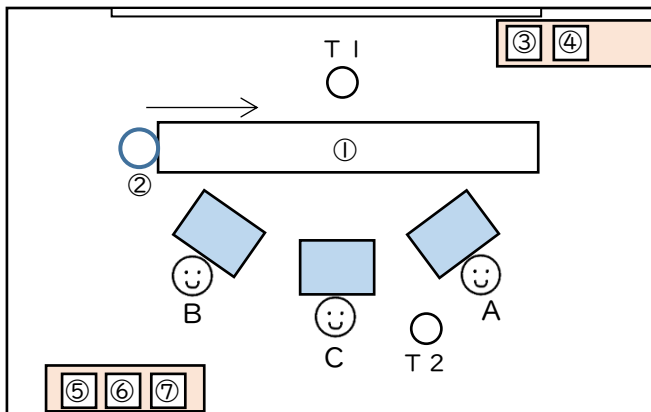
この授業で、ゴムロケットを飛ばす楽しさや友達の様子に気付き始めるAさん、ゴムロケットの飛距離を延ばしたいという思いを持ち、そのために試行錯誤するBさん、Cさんそれぞれの姿を思い描きながら、学習活動や支援の手立てを考えました。

学習活動	重視する学びの姿	支援の手立て
<p>1 自分が作ったゴムロケットを発表する。</p> <p>(1) 説明する。</p> <p>(2) 飛ばす。</p> <p>(3) 着地点に、ミニコーンを置く。</p> <p>* (1)~(3)を一人ずつ行う。</p>	<p>対：友達に分かるように説明したり、飛ばして見せたりする。</p> <p>対：友達の発表に注目し、良いところを見つけて発言する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・友達の発表の注目するポイントを伝える。 ・説明や感想発表において、児童の思いに合った言葉を引き出したり示したりする。
<p>2 飛距離を比べる。</p> <p>(1) 飛距離を調べる。</p> <p>(2) 飛距離を比べる。</p> <p>(3) 教師が飛ばすのを見る。</p>	<p>深：もっと遠くに飛ばしたい、遠くに飛ばすにはどうすればいいかな、と思う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの飛距離と同じ長さに紙テープを切り、端をそろえて黒板に貼る。 ・教師がゴムロケットを、より遠くに飛ばして見せる。
<p>3 遠くに飛ぶように改良する。</p> <p>(1) 改良する。</p> <p>(2) 飛ばす。</p> <p>(3) ミニコーンを着地点に移動させる。</p> <p>* (1)~(3)を各自で繰り返す。</p>	<p>深：試行錯誤しながら飛距離を延ばそうとする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴムや割り箸やテープなど、工夫するための材料を多めに準備しておく。 ・児童が試行錯誤するよう、助言したり気付きを待ったりする。
<p>4 工夫したところを発表する。</p>	<p>対：自分が考えたことや工夫したことを伝える。</p> <p>主：もっと遠くに飛ばしたいと期待感を持つ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・工夫したことに気付くような言葉掛けをする。 ・もっと遠くに飛ばしたいと思うような言葉掛けをする。

[各教科等の目標に係る活動の内容等]

	A	B	C
教科	生活 ものの仕組みと働き（思考・判断・表現）		
目標 (段階)	・身の回りにあるものの仕組みや働きに気づき、それを教師と一緒にみんなに伝えようとする。（1段階）	・日常生活の中で、ものの仕組みや働きが分かり、それらを表現する。（3段階）	・身近にあるものの仕組みや働きが分かり、それらを表現しようとする。（2段階）
活動の内容 役割	・ゴムロケットを飛ばす練習をする。	・ゴムロケットを改良する。	・ゴムロケットを改良する。
教科	算数－測定（知識・技能）		
目標 (段階)	・大きさや長さなどを、基準に対して同じか違うかによって区別する。（1段階）	・二つの量の大きさについて、一方を基準にして相対的に比べる。（2段階）	・二つの量の大きさについて、一方を基準にして相対的に比べる。（2段階）
活動の内容 役割	（次時で中心的に取り扱う）	・飛距離と同じ長さの紙テープを比べる。	・飛ばしたゴムロケットの着地点と、前回の着地点に置いた目印の位置を比べる。

[環境設定]



[準備物]

- ① 5 mメジャー
 - ② ケンステップ（立ち位置の印）
 - ③ 紙テープ
 - ④ ミニコーン
 - ⑤ 輪ゴム
 - ⑥ 割り箸
 - ⑦ テープ類
- 飛ばす方向

ガイドブック P.23

10 学習評価

① 授業の目標の評価

[学級全体の授業の目標]

- 改良の仕方や飛ばし方が分かり、飛ばした。（知識・技能）
- 材料の数や取り付け方を工夫してよく飛ぶように改良したり、先生と一緒に飛ばしたりした。（思考・判断・表現）
- 教師に質問したり、友達の様子を見たりしながら、飛距離を延ばそうと、繰り返し飛ばした。（主体的に学習に取り組む態度）

[子ども一人一人の授業の目標]

A	<p>○教師の「ぐー。」という言葉に合わせて紙コップを引っ張り、「ぱっ。」という言葉に合わせて手を離すことで飛ばした。 (知識・技能)</p> <p>○やり方をまねることは難しかったが、友達が飛ばしている様子をよく見た。 (思考・判断・表現)</p> <p>○飛ばしたゴムロケットを拾って教師に手渡すことで、飛ばしたいと何度も伝えた。 (主体的に学習に取り組む態度)</p>
B	<p>○引っ掛かる部分がない方が、飛距離が長くなることに気付き、割り箸の接続部分にビニールテープを巻いて、紙コップが引っ掛からないように改良した。 (知識・技能)</p> <p>○ゴムを長くつなげたり、二重にしたり、他の形状のゴムに変えたりと、ゴムに着目して改良した。 (思考・判断・表現)</p> <p>○実物を見せながら、工夫したことを大きな声で発表した。 (主体的に学習に取り組む態度)</p>
C	<p>○飛ばす練習を中心に行うことで、飛ばし方が分かり、3m飛ばした。 (知識・技能)</p> <p>○教師に何度も聞きながら、持ち方を工夫して飛ばした。(思考・判断・表現)</p> <p>○友達が改良したことを知って、自分も改良したいと発言した。 (主体的に学習に取り組む態度)</p>

②単元目標の評価

[学級全体の単元目標]

- 自分のゴムロケットを作り、学年間交流相手の○年○組を招待してゴムロケット大会を開いた。
(知識・技能)
- それぞれが試行錯誤しながらゴムロケットの改良をしたり、飛ばす練習をしたりした。ゴムロケット大会の準備では、参加者の顔写真を貼ったミニコーンを準備するなど、楽しく遊ぶ工夫をした。
(思考・判断・表現)
- ゴムロケットの改良方法を自分から友達に教えたり、ゴムロケット大会の終了後に「またやりたい。」「楽しかった。」と発言したりするなど、友達と一緒に活動することを楽しんだ。
(主体的に学習に取り組む態度)

[子ども一人一人の単元目標]

A	<p>○教師と一緒にゴムロケットを作った。ゴムロケット大会ではチケット係になり、チケットをはさみで切って準備したり、当日は受付でチケットを受け取る係をしたりした。 (知識・技能)</p> <p>○ゴムロケットを一人で飛ばすことができるようになり、飛ばしたゴムロケットを自ら拾っては何度も飛ばした。 (思考・判断・表現)</p> <p>○自分から意識することは少なかったが、教師が促すことで友達に注目した。チケットを受け取る係では、友達からチケットを受け取って笑顔を見せることがあった。 (主体的に学習に取り組む態度)</p>
---	--

B	<p>○5 m飛ぶゴムロケットを作った。ゴムロケット大会の計画では、5 mよりも長くて幅の広いメジャーを作ることを提案し、作成した。 (知識・技能)</p> <p>○ゴムに着目し、改良を何度も重ねた。 (思考・判断・表現)</p> <p>○友達にゴムロケットの改良方法を伝えた。ゴムロケット大会当日は測定係になり、1 m単位で記録を読み上げ、記録系の友達に伝えた。 (主体的に学習に取り組む態度)</p>
C	<p>○3 m飛ぶゴムロケットを作った。ゴムロケット大会の準備では友達と一緒に長いメジャーを作った。 (知識・技能)</p> <p>○ゴムロケットの改良では、教師の助言を得て、ゴムの強さと飛距離に関係があることに気づき、改良した。 (思考・判断・表現)</p> <p>○友達と協力してゴムロケット大会の準備をした。当日は、招待した友達に「いらっしゃい。」「おめでとう。」と積極的に声を掛けた。 (主体的に学習に取り組む態度)</p>

③教科の目標の評価 (学習状況)

【授業後】

A	生活	教師の言葉に合わせてゴムロケットを飛ばした。
	算数	(次時で中心的に取り扱う)
B	生活	ゴムに着目して改良した。
	算数	長さを比べるとき、紙テープの右端に注目することが分かった。
C	生活	改良ではなく飛ばす練習を熱心に行った。
	算数	ミニコーンと着地したロケットの位置を教師と何度も確認した。

【単元終了後】



- ・「7 単元計画」(P.7)で決めた、「主とする教科の内容及び評価の観点」に沿って学習状況を確認しました。
- ・この事例での「主とする教科の内容及び評価の観点」は
 - 生活ー遊び (知識・技能)
 - 生活ーものの仕組みと働き (思考・判断・表現)
 - 生活ー役割 (思考・判断・表現)
 - 算数ー測定 (知識・技能)
 - 図エー表現 (思考・判断・表現) です。
- ・この単元だけで教科の目標の評価をすることはできません。学期末や学年末での評価につなげるため、単元終了後の学習状況を確認しておきます。

A	生活	<p>【遊び（知識・技能）】 自分から何度もゴムロケットを飛ばした。</p> <p>【ものの仕組みと働き（思考・判断・表現）】 ゴムロケットが飛ぶと、声を上げて笑った。</p> <p>【役割（思考・判断・表現）】 受付係として、友達が差し出したチケットを自分で受け取り箱に入れた。</p>
	算数	<p>【測定（知識・技能）】 着地したゴムロケットに合わせて、自分のミニコーンを置いた。</p>
	図工	<p>【表現（思考・判断・表現）】 型抜きされた色紙の中から好きな色のものを選び、ロケットの全面に貼った。</p>
B	生活	<p>【遊び（知識・技能）】 飛ばす順番を守って遊んだ。</p> <p>【ものの仕組みと働き（思考・判断・表現）】 ゴムの強さと飛距離の関係に気付き、よりよく飛ぶゴムロケットを作ろうとした。</p> <p>【役割（思考・判断・表現）】 測定係として、記録係の友達が分かるように大きな声で記録を伝えたり、記録できたかどうか確認したりした。</p>
	算数	<p>【測定（知識・技能）】 2本の紙テープを比較し、正しく「長い」「短い」と言った。</p>
	図工	<p>【表現（思考・判断・表現）】 ロケットに自分と友達に乗っているような絵を描き込んだ。</p>
C	生活	<p>【遊び（知識・技能）】 ゴムロケットを飛ばして遊ぶために必要なものが分かり、準備した。</p> <p>【ものの仕組みと働き（思考・判断・表現）】 ゴムロケットをよく飛ばすためにどうしたらよいか、教師の助言を求めた。</p> <p>【役割（思考・判断・表現）】 ゴムロケット大会で、招待した友達に積極的に声を掛けた。</p>
	算数	<p>【測定（知識・技能）】 ミニコーンと着地したロケットの位置を比べ、遠い方を選んだ。</p>
	図工	<p>【表現（思考・判断・表現）】 丸く型抜きされた色紙を、ロケットの窓に見立てて貼った。</p>

